

下田市白浜地区における津波対策の方針

平成 30 年 10 月

静岡県・下田市

目 次

- 1 はじめに
- 2 地区協議会意見のまとめ
 - 2.1 津波対策の基本方針案
- 3 津波対策の方針（結論）

（参考資料）

参 1 津波被害想定

参 1. 1 津波浸水想定とレベル 1 津波必要堤防高

参 2 検討経緯

1 はじめに

地元町内会や関係機関・団体等の代表者で組織した「下田市津波対策白浜地区協議会」では、利害の異なる関係者間で話し合いを重ねることで、お互いに理解し合い、地区として最良であると考えられる津波対策を「下田市白浜地区における津波対策の基本方針案」として取りまとめました。

静岡県及び下田市は、この基本方針案を尊重し、地区の実情を踏まえた総合的な津波対策の方針である「下田市白浜地区の津波対策の方針」を作成しました。

静岡県及び下田市では、今後、本方針に基づき津波対策を推進していきます。

なお、本方針に記載の事業の実施にあたっては、予算の確保を含め国その他関係機関等との調整が必要となります。

2 地区協議会意見のまとめ

2.1 津波対策の基本方針案

【白浜地区】

- 最大クラス（レベル2）の津波に備えた住民や観光客の迅速かつ主体的な避難を可能とするための施設整備やソフト対策、啓発活動を推進する。
- 比較的発生頻度の高い津波（レベル1）に対しては、現況地盤高及び既存施設の高さが必要堤防を満足していない箇所があるが、観光産業を中心とする当地区の特性に鑑み、津波を防ぐための防潮堤等の新たな施設整備や既存施設の嵩上げは行わないものとする。
- 現況の防潮堤等の高さを超える津波に対しては、避難によって命を守るため、下田市の津波避難計画を基本として対策を実施する。
- これらの津波対策については、将来のまちの姿を描きながら、その方向性に逸することの無いよう、地区・県・市・関係機関が協力して実施していく。

なお、静岡県地震津波被害想定等が見直された場合は、上記基本方針案についても、適宜見直すものとする。

3 津波対策の方針（結論）

静岡県と下田市は、下田市津波対策白浜地区協議会でとりまとめた「下田市白浜地区における津波対策基本方針案」をもとに、「下田市白浜地区の津波対策の方針」を作成しました。

この「下田市白浜地区の津波対策の方針」は、地区の実情等を最大限に反映するとともに、津波対策静岡方式推進検討会による検討も踏まえて、作成したものです。

下田市白浜地区の津波対策の方針

1) レベル1 津波に対する施設整備について

- ・ 現況地盤高及び既存施設の高さが必要堤防高を満足していない箇所があるが、観光産業を中心とする当地区の特性に鑑み、津波を防ぐための防潮堤等の新たな施設整備や既存施設の嵩上げは行わないものとする。

2) 避難について

- ・ 下田市は、最大クラス（レベル2）津波に対し、住民や観光客の迅速かつ主体的な避難を最重要の対策と位置付け、下田市の津波避難計画に基づく避難を後押しするソフト対策を推進する。なお、ソフト対策の内容や優先順位の考え方については、「下田市白浜地区における津波対策基本方針案」の別表を参考とする。

3) その他について

- ・ これら津波対策は、地区、県、下田市、関係機関が協力し、着実に実施していくとともに、今後も継続してソフト対策等を検討していく。
- ・ 静岡県の地震津波被害想定等が見直された場合は、この方針についても適宜見直す。

課題		担当	短期的対策（5年以内）	中期的対策（10年以内）	長期的対策	備考
避難路	・避難地までの安全確保 ・避難路の安全確保 ・避難場所から避難所への移動経路確保	市及び 自主防	避難路の整備 (G-4, 15, 17, 18, 21) 多方面からの避難路 避難路への手摺りの整備 (I-1~I-3) 既存避難路への手摺りの整備 (安全対策)		避難路の整備 (G-1~3, 5~14, 19, 20) 既存通路の拡張、避難所への移動経路整備	G-17: 整備済み 短期的対策は、静岡県の交付金対象 短期的対策は、静岡県の交付金対象
	・地区内幹線道路及び避難路の安全確保	自主防 自主防	避難路の管理 (M-1~M3) 避難路の伐採、除草管理			
避難路 (標示)	・避難場所の周知不足 ・観光客対策	県及び 市	避難誘導看板(標識)の設置 (G-1~G-10) 幹線道路からの避難地への誘導 誘導表示看板の設置 (D-1~D-3) 避難程度の確認 (安心対策)		地区内幹線道路及び避難路の安全確保	G-1, 2, 3, 5, 6, 10: 整備済み 短期的対策は、静岡県の交付金対象 短期的対策は、静岡県の交付金対象
	・避難地までの安全対策 ・夜間避難 (停電時等) の対応不足	市及び 自主防	落石注意看板の設置 (E-1) 照明灯整備 (F-1~F-18) ソーラー照明等の整備			短期的対策は、静岡県の交付金対象
避難地	・避難地で長時間滞在せざるを得ない状況への対応不足	市及び 自主防	避難地への防波倉庫整備 (K-1) 避難地での足止めを想定した備蓄			短期的対策は、静岡県の交付金対象
	・港畔からより近い場所での避難地確保	県及び 市		同報無線屋外子局の増設	避難タワー整備 (N-1) 海岸部への避難タワー整備 (観光客対策)	歩道を兼ねたもの
その他	・情報伝達対策	市				
	・避難訓練の充実 ・避難対策	市及び 自主防 自主防	昼夜、気象など条件別避難訓練の実施 避難路の危険箇所確認			

白浜地区の津波対策の基本方針案（別表）

(参 考 资 料)

参 1 津波被害想定

参 1. 1 津波浸水想定とレベル 1 津波必要堤防高

【白浜地区】

平成 27 年 1 月に公表された相模トラフ沿いで発生する地震動と津波浸水想定において、レベル 1 津波（大正関東地震（相模トラフ沿い））の最大浸水深図を図 1 に示した。

また、レベル 2 津波（南海トラフ沿いの最大クラスの地震）の最大浸水深図を図 2 に示した。

なお、レベル 1 津波に対する必要堤防高は T. P. +5. 5m である。レベル 2 における平均津波高は T. P. +15. 0m、最高津波高は T. P. +15. 0m である。

【白浜地区】



図1 白浜地区 大正型関東地震（レベル1）最大浸水深図

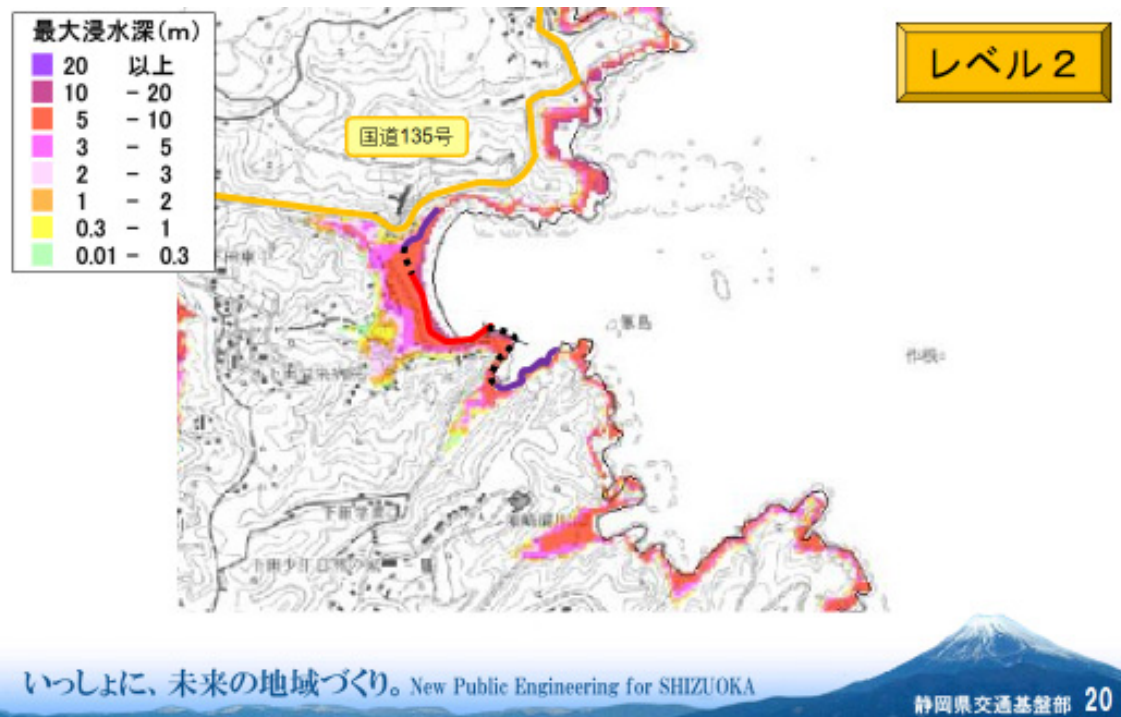


図2 白浜地区 南海トラフ沿いの最大クラスの地震（レベル2）最大浸水深図

参2 検討経緯

【白浜地区】

白浜地区では地区協議会設置に先立ち、平成27年7月9日に下田市で津波講演会が開催された。平成27年9月16日に第1回の「下田市津波対策白浜地区協議会」を開催し、会長を長田区長、副会長を原田区長及び板戸区長とした。

その後、計6回の地区協議会と2回の住民説明会を開催し、津波対策についてハード・ソフトの両面から検討を行い、最終の第6回で事務局から「〔下田市〕津波対策検討会 白浜地区協議会における津波対策について（ソフト対策）」を掲示し、ハード対策については、再度、住民説明会を行った後、住民意見の集約結果に基づき、事務局で方針内容をまとめ、平成29年10月12・13日と11月24日に会長、副会長及び各メンバーに説明をし、了承を得た。

・地区協議会

① 構成

会長	長田区長（兼自主防災会長）
副会長	原田区長（兼自主防災会長）、板戸区長（自主防災会長）
メンバー	対象自治会（全3区）の代表者（区長、区長代理、防災委員）
	伊豆白浜観光協会、伊豆漁業協同組合、白浜船主会、下田温泉旅館協同組合
	下田市（建設課、地域防災課（現在の防災安全課）、観光交流課、産業振興課）
	静岡県（下田土木事務所、賀茂振興局（現在の賀茂地域局））
事務局	静岡県下田土木事務所、下田市産業振興課

② 開催状況（出席者に下田市・静岡県関係者は含まない）

回	開催日・場所	出席者数	概要
1	平成27年9月16日 白浜公民館	7名	地区協議会の目的と津波対策の進め方 第4次地震被害想定と白浜区の現状
2	平成27年12月2日 白浜公民館	10名	施設整備検討（案）とその効果 ワークショップ
3	平成28年1月27日 白浜公民館	13名	津波対策の検討体制 意見を踏まえた検討とワークショップ
4	平成28年9月8日 白浜公民館	14名	これまでのまとめとアンケート 具体的な避難対策について
5	平成28年12月21日 白浜公民館	17名	アンケート結果 津波対策のワークショップ
6	平成29年2月28日 白浜公民館	14名	施設整備方針決定に向けた進め方



第 1 回地区協議会



第 2 回地区協議会



第 3 回地区協議会



第 4 回地区協議会



第 5 回地区協議会



第 6 回地区協議会